

伊賀市文化フォーラム 2010

来聴歓迎・聴講無料・事前申し込み不要

期 間	平成 22 年 6 月 20 日～8 月 22 日
時 間	午後 2 時～午後 3 時 45 分
会 場	伊賀上野交流研修センター

テーマ：郷土「伊賀の歴史と伝統を探る」

第1回
郷土

平成 22 年 6 月 20 日(日)
近世伊賀における寺院の復興

多田 實道(皇學館大学文学部講師)

第2回
郷土

平成 22 年 7 月 11 日(日)
倭(やまと)を支えた伊賀の人々 ～伊賀国成立の背景を探る～

山中 章(三重大学人文学部教授)

第3回
郷土

平成 22 年 7 月 18 日(日)
伊賀地域の民俗行事

櫻井 治男(皇學館大学社会福祉学部教授・学部長)

テーマ：家庭「家庭教育を健康から考える」

コーディネーター 酒井 研作(皇學館大学社会福祉学部助教)

第4回
家庭

平成 22 年 8 月 1 日(日)
なぜ、あなたは運動をしてもダイエットに成功しないのか？
-運動とダイエットの誤解-

託児あり 申し込み：7 月 12 日(月)まで

片山 靖富(皇學館大学教育学部助教)

第5回
家庭

平成 22 年 8 月 8 日(日)
若い女性のやせと次世代の健康

託児あり 申し込み：7 月 12 日(月)まで

杉浦 絹子(三重大学医学部准教授)

第6回
家庭

平成 22 年 8 月 22 日(日)
食はこどもの心と体をつくる -家庭での食育-

託児あり 申し込み：8 月 2 日(月)まで

磯部 由香(三重大学教育学部准教授)

テーマ「家庭」(第4回～第6回)については、受講時間内の託児を無料で行います(満2歳～就学前)。希望される方はそれぞれの期日までに伊賀市教育委員会生涯学習課(0595-22-9679)までお申し込みください。
当日のお申し出には対応できません。

会 場

伊賀上野交流研修センター 第一研修室(JR伊賀上野駅前)……………TEL 0595-24-6078
〒518-0022 三重県伊賀市三田 986-1

規 模 約 50 名

問合せ先

・三重大学附属図書館研究開発室 TEL 059-231-9072 担当教員 井口靖・石阪督規
・皇學館大学社会福祉学部地域福祉文化研究所 TEL 0595-61-3351 担当教員 板井正斉
・伊賀市教育委員会生涯学習課 TEL 0595-22-9679

主 催：三重大学・皇學館大学社会福祉学部・伊賀市教育委員会

協 賛：中部電力(株)

後 援：(株)三重ティーエルオー・上野商工会議所



伊賀市文化フォーラム 2010

期 間 平成 22 年 6 月 20 日～8 月 22 日

時 間 午後 2 時～午後 3 時 45 分

会 場 伊賀上野交流研修センター

第 1 回

郷土

平成 22 年 6 月 20 日(日)

「近世伊賀における寺院の復興」

多田 實道(皇學館大学文学部講師)

江戸時代、伊賀国では第二次天正伊賀の乱(1581)で荒廃した寺院が次々と復興されました。その経過を知るのに好都合な史料が、伊賀市内の曹洞宗寺院に遺されておりますので、本講座にて御紹介したいと思います。

第 2 回

郷土

平成 22 年 7 月 11 日(日)

「倭(やまと)を支えた伊賀の人々 ～伊賀国成立の背景を探る～」 山中 章(三重大学人文学部教授)

奈良・平安時代の伊賀は、現在の都道府県と同格の国でした。内陸部にあって国と位置づけられたのは飛騨国と伊賀国だけでした。なぜ律令国家はこの地域を高く評価したのでしょうか。その歴史的背景に考古学から迫ります。

第 3 回

郷土

平成 22 年 7 月 18 日(日)

「伊賀地域の民俗行事」

櫻井 治男(皇學館大学社会福祉学部教授・学部長)

現代の私たちは、何かに追われるように時間を過し、生活にメリハリが少なくなり、季節感も薄れているのではないのでしょうか。伊賀地域に伝わる一年と一生にかかわる伝統的な民俗行事の意味を考察したいと思います。

第 4 回

家庭

託児あり

平成 22 年 8 月 1 日(日)

「なぜ、あなたは運動をしてもダイエットに成功しないのか? -運動とダイエットの誤解-」

片山 靖富(皇學館大学教育学部助教)

「運動をしているのに痩せない」なぜ、あなたのダイエットはうまくいかないのか? 運動と体重減少のメカニズムとの関係、健康づくりのための運動について解説します。子ども、家族の健康づくりの参考にしてください。

第 5 回

家庭

託児あり

平成 22 年 8 月 8 日(日)

「若い女性のやせと次世代の健康」

杉浦 絹子(三重大学医学部准教授)

近年、若い女性のやせ志向の高まり等を背景に低出生体重児の割合が増加しています。疫学的調査研究により胎児期に低栄養にさらされると成人期にメタボリックシンドローム等を発症しやすくなることがわかってきました。「小さく産んで大きく育てる」から「ちょうどよく産んで健康に育てる」へのシフトが求められています。

第 6 回

家庭

託児あり

平成 22 年 8 月 22 日(日)

「食はこどもの心と体をつくる -家庭での食育-」 磯部 由香(三重大学教育学部准教授)

こどもの頃の食生活は、身体健康だけでなく、豊かな人間性の形成にも、ひじょうに関連しています。近年の食生活の現状から様々な課題から望ましい食生活のあり方を見直すとともに家庭での食育の実践について考えます。

第 4 回～第 6 回 テーマ「家庭」コーディネーター：酒井 研作(皇學館大学社会福祉学部助教)

託児ご希望の方は表面記載の期日までにお申し込みください。

- 三重大学のホームページ..... <http://www.mie-u.ac.jp/>
- 皇學館大学のホームページ..... <http://www.kogakkan-u.ac.jp/>
- 伊賀市のホームページ..... <http://www.city.iga.lg.jp/>
- 三重大学文化フォーラムのホームページ..... <http://www.lib.mie-u.ac.jp/lab/forum.html>